



ごあいさつ

4月1日から本校に着任いたしました、校長の山口 健（たけし）と申します。

本校には平成13年（2001年）度から平成17年（2005年）度までの5年間、教諭として勤めておりました。

当時は、保護者や地域の皆様にあたたかく迎えていただき、多くの学びと経験を積ませていただきました。

このたび、再びご縁をいただき、校長として高瀬小学校の子どもたちとともに歩んでいけることを、大変うれしく思っています。

これまでいただいたご恩に少しでも報いることができますよう、保護者や地域の皆様と力を合わせ、子どもたちが安心して学び、笑顔で成長できる学校づくりに努めてまいります。

新年度が始まりました

桜の花が咲き誇る中、4月8日(火)に新入式・始業式、10日(木)には入学式を行い、令和7年度の高瀬小学校が、181名の子どもたちとともに新たな一年の幕を開けました。

始業式校長式辞

2年生、3年生、4年生、5年生、そして、6年生のみなさん、進級おめでとうございます。

今日から新しい1年が始まりました。

今年は、みなさんにとって、そして、高瀬小学校にとって特別な1年です。

なぜなら、私たちの高瀬学校は今年、創立150周年を迎えるからです。

150年前から、たくさんの子どもたちがこの学校で学び、遊び、そして夢をふくらませながら大人になっていきました。そんな長い歴史のバトンを、今年はみなさんが受け取り、未来につないでいく年になります。

そんなみなさんに、今日は一つ、私から思い出の泥団子のお話をしたいと思います。

（20年前に作った泥団子を見せました）

これは、ちょうど20年前、私がこの高瀬小学校の1年生たちと一緒に、夢中になって作った泥団子です。

驚くことに、20年経った今でも、こうしてきれいな形を残しています。

どうしてこんな泥団子ができたのか——。

目指したのは、丈夫で、美しい泥団子でした。泥団子って、手で丸めればすぐに形になりますが、しばらく置いておくと、割れてしまうことがあります。それに、ピカピカに光る泥団子を作るのは、とても難しいのです。

でも、当時の1年生たちとアイデアを出し合いながら、何度も作り直して、ようやく完成させることができました。

この経験は、学校生活にも通じることだと思います。

「もっとよくするにはどうすればいいか？と考えること」

「友だちといっしょに学び続けること」

「うまくいなくても、最後までやってみること」

こうした気持ちを大切にしていけることが、毎日を充実させ、みなさん自身の成長につながっていきます。

今年から、高瀬小学校の目標を新しくしました。それは、「よりよい答えを求めて、ともに学び続ける高瀬っ子を育てる」という目標です。

この目標には、みなさん一人ひとりが、わからないことをそのままにせず、「なぜだろう？」

「どうすればもっとよくなるかな？」と考え、友だちと協力しながら、学びを深めていってほしいという願いが込められています。そして、この目標の土台には、これまでずっと大切にされてきた、校訓「**真実・自主・協同**」があります。

150周年の今年、みなさんといっしょに、よりよい高瀬小学校をつくっていけることを、先生たちも楽しみにしています。

この1年が、みなさんにとって、たくさんの笑顔と成長であふれる毎日になるように、みなで力を合わせて、「よりよい答え」を求める1年にしていきたいと思います（終）。

（裏面に続きます）



20年前の泥団子

(表面に続いて)

始業式と入学式の式辞の中で全校の子どもたちに見せた泥団子は、実は、当時の1年生から教わりながら一緒に作ったものです。子どもたちのまっすぐなまなざしと、あふれる笑顔は、今でも私の心に残っています。

本校の教育目標である「よりよい答えを求めて、ともに学び続ける高瀬っ子を育てる」には、校訓であります「真実・自主・協同」のもと、**私たち教職員も子どもとともに学び、保護者の皆さま、地域の皆さまと心をつなげて歩いていく**という思いが込められています。

どうぞ、本校の教育活動に対しまして、今後ともご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

入学式の前日に



入学式前日、新1年生の教室を回っていると、担任の先生が嬉しそうに声をかけてきました。

「見てください。Aさんは、ここにチューリップを描いたんですけど、『に』の字に重ならないように、葉っぱをよけて描いているんですよ。」

子どもが見せてくれたのは、文字にかぶらないよう工夫された、やさしい絵でした。

その小さな思いやりに気づき、喜びをもって伝えてくれた先生のまなざしに、心が温かくなりました。

子どもの真心に気づける、そんな教師でありたいと改めて思いました。

学校だよりのタイトル「せんだん」について

校庭にそびえる梅檀（せんだん）の木は、樹齢およそ110年。大正6年（1917年）、本校校舎が現在の場所に移転した際に植えられたものと考えられています。

「**梅檀は双葉より芳し**（せんだんは ふたばより かんばし）」という故事があります。発芽の頃から香りを放つせんだんのように、未来を担う子どもたちが、幼い頃からその可能性を発揮し、健やかに育ってほしいという願いが、創立当時の保護者や地域の方々の間にあったのかもしれません。

長年にわたる雨水の浸入により、3年前に大きな剪定を行いました。今も残された幹から若葉を芽吹かせ、子どもたちの学びを見守っているかのようです。

このせんだんの木を大切に思う保護者や地域の皆様のお気持ちに寄り添い、子どもたちを大切に育てていきたいという願いを込めて、本校の学校だよりに「せんだん」という名前をつけました。

なお、「せんだん」という名称は、育友会広報紙のコラム名と重複いたしますが、どうかご理解とご容赦を賜りますようお願い申し上げます。



高瀬小ホームページをリニューアルしました！

4月から新たに「校長室から」「お知らせ文書」「フォトギャラリー」「育友会から」のページを新たに加えました。

「学校だより」タイトル右横のQRコードを読み取っていただけますとホームページをご覧いただけます。また、ホーム画面に並んだアイコンをクリックすると、それぞれのページにすぐにアクセスできるようになっています。

写真などもカラーで掲載していますので、ぜひホームページの方もご覧いただければ幸いです。